

●令和2年（2020年）の世界の主な地震

2020年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害^{（注1）}を伴った地震は16回（2019年は22回）であり、Mj（気象庁マグニチュード）もしくはMw（モーメントマグニチュード）7.0以上の地震は9回（2019年は10回）であった。また、MjもしくはMw8.0以上の地震はなかった（2019年もなし）（図1及び表1参照）。

2020年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、7月22日のアラスカ半島の地震（図1中の15）のMw7.8（Mwは気象庁による）であった。

米国地質調査所（USGS）の統計^{（注2）}によると（<https://earthquake.usgs.gov/>）、M8.0以上の地震の年間発生回数の平均は1回、M7.0～M7.9の地震の年間発生回数の平均は約14回であり、2020年のM7.0以上の地震発生回数は少なかった。

以下、死者が100人を超える海外の地震について記述する。

10月30日、エーゲ海^{（注3）}の深さ21kmでMw7.0の地震（図1中の21）が発生し、トルコでは死者115人、負傷者1034人、ギリシャでは死者2人等の被害が生じた。

（注1）被害状況は、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）、国内は、総務省消防庁による。

（注2）USGSの統計については、USGSのサイト内の以下のページから1990年から2019年までの各年の回数から平均値を算出した。

<https://www.usgs.gov/natural-hazards/earthquake-hazards/lists-maps-and-statistics>

（注3）気象庁が情報発表に用いた震源地名は「地中海」（詳しい震源の位置は「ギリシャ、ドデカネス諸島」）である。

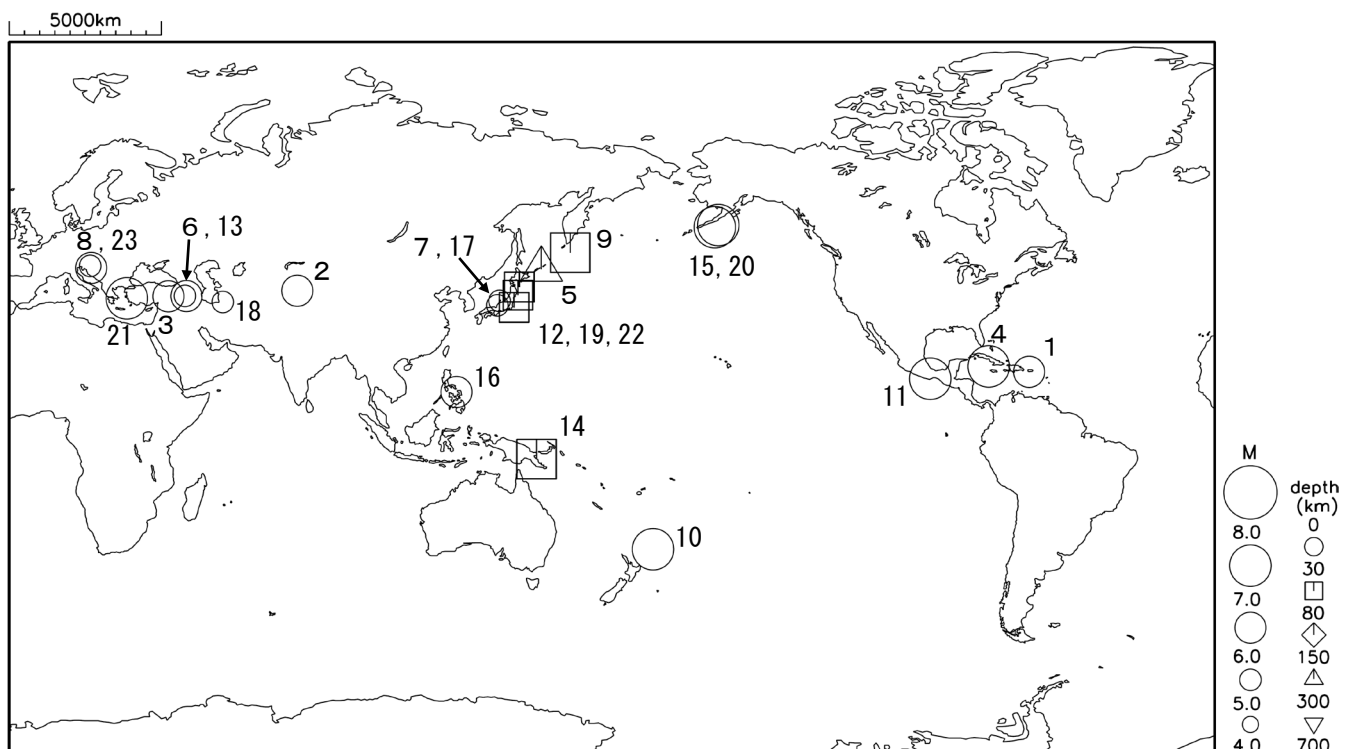


図1 2020年に世界で発生したM7.0以上または人的被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は、1月1日～12月31日は同所ホームページの“Earthquake Archive Search & URL Builder”（<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>）による（2021年1月6日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、及び一部の規模の大きな地震のMw（モーメントマグニチュード）については気象庁による（表1参照）。

** : 数字は、表1の番号に対応する。

*** : マグニチュードは表1の値を使用している。海外の地震については、Mw（モーメントマグニチュード）を、Mwが決まっていなかった場合はMj（気象庁マグニチュード）の値を表示している。

令和2年12月 地震・火山月報（防災編）

表1 2020年に世界で発生したマグニチュード7.0以上または人的被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	Mj	Mw	震央地名	備考(被害状況 など)	北 西	遠 地
1	01月07日17時24分	N17° 52.1′	W 66° 49.5′	9		6.4	プエルトリコ	死者1人など		
2	01月19日22時27分	N39° 50.1′	E 77° 06.5′	6		6.0	中国、シンチアンウイグル自治区南部	死者1人など		
3	01月25日02時55分	N38° 25.8′	E 39° 03.6′	10		6.7	トルコ	死者41人など		
4	01月29日04時10分	N19° 25.1′	W 78° 45.3′	15		(7.7)	キューバ			○
5	02月13日19時33分	N45° 03.3′	E149° 09.7′	155	7.2	(6.9)	択捉島南東沖		○	
6	02月24日01時00分	N38° 29.7′	E 44° 22.3′	10		6.0	トルコ-イラン国境	死者9人など		
7	03月13日02時18分	N37° 16.7′	E136° 49.4′	12	5.5	(5.3)	石川県能登地方	軽傷者2人		
8	03月22日14時24分	N45° 54.4′	E 15° 58.1′	10		5.3	バルカン半島北西部	死者1人など		
9	03月25日11時49分	N48° 57.8′	E157° 41.7′	58		(7.5)	千島列島東方		○	
10	06月18日21時49分	S33° 17.5′	W177° 51.4′	10		(7.4)	ケルマデック諸島南方			○
11	06月24日00時29分	N15° 53.1′	W 96° 00.4′	20		(7.4)	メキシコ、オアハカ州沿岸	死者10人など		○
12	06月25日04時47分	N35° 33.2′	E141° 06.7′	36	6.1	(6.0)	千葉県東方沖	負傷者2人		
13	06月25日19時03分	N38° 31.9′	E 43° 56.4′	10		5.4	トルコ	負傷者5人など		
14	07月17日11時50分	S 7° 50.1′	E147° 46.2′	73		(7.0)	パプアニューギニア、ニューギニア東部		○	○
15	07月22日15時12分	N55° 04.2′	W158° 35.7′	28		(7.8)	米国、アラスカ半島			○
16	08月18日09時03分	N12° 01.5′	E124° 07.6′	10		6.6	フィリピン諸島、サマル	死者1人など	○	
17	09月04日09時10分	N36° 06.9′	E136° 11.3′	7	5.0	(4.8)	福井県嶺北	軽傷者13人		
18	09月07日06時34分	N36° 58.7′	E 55° 06.6′	10		5.3	イラン北・中部	負傷者41人		
19	09月12日11時44分	N38° 43.3′	E142° 16.2′	43	6.2	(6.1)	宮城県沖	軽傷者1人		
20	10月20日05時54分	N54° 36.1′	W159° 37.5′	28		(7.6)	アラスカ州南方			○
21	10月30日20時51分	N37° 54.7′	E 26° 46.7′	21		(7.0)	エーゲ海	死者117人など		○
22	12月21日02時23分	N40° 46.9′	E142° 41.5′	43	6.5	(6.3)	青森県東方沖	負傷者1名		
23	12月29日20時19分	N45° 25.3′	E 16° 15.3′	10		6.4	バルカン半島北西部	死者7人など		

- ・震源要素は、1月1日～12月31日は同所ホームページの”Earthquake Archive Search & URL Builder”
(<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2021年1月6日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・Mw の欄に下線のあるものは、mb(実体波マグニチュード)でUSGSによる。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。また、被害状況は、既刊の地震・火山月報 (防災編) のデータから更新しているものもある。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。